

夜間学校 ニュース

1987年2月20日
西成区萩之茶屋2の8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の 指紋押なつ拒否断固支持！ 定住外国人に市民権を

職安職員暴行!?

実は、ひったくり連行中!?

先週の金曜日、職安のす
ぐ横にある階段のそばに立
っている時、職安の職員が
一人の人をうつろからケツ
のあたりをひぎでケリ上げ
ながら、職安の入口の方へ
連れて行くのが見えた。
なにをおするんやと思つて
急いで近づくこと、ちょうど
職安の入口が開いたので、
一緒に中へ入った。
中へ入っても、職員はま
だ手荒に男の人を扱ってい

たので、何してるんや、と
いうと、あんた、なんで入
つてきたんや、と逆に聞か
れた。
なんで入つてきた、いう
て、労働者を手荒に連れ込
むところを見たから、なに
があつたのか確めに入つて
きたんや。
で、話をつづめていうと、
連れ込まれた人は、アブレ
の支給を受けた仲間から、
金をひったくつて逃げよう

こしたところを捕つたもの
らしい。
職安職員の話によると、
祭日の後、ダブルの支給が
あるときに、ひったくりが
よく発生しているという。
連れ込まれた人をジーツ
ト見ると、ひったくりをし
たと説明をされている時
その後、やってないとも
ウソだともいわず、黙つた
ままへたり込んでいた。ど
うやら、ひったくつて逃げ
ようとしたのは本当らしく
つた。
たとえ、どんな事情があ
ろうとも、仲間のせをひ

つたくつて逃げるという
行為は許されるべきでは
ない。——でもなんとな
く、職安職員に二つかれ
たり、警察へつきたされ
るのどううなと考えるこ
かわいそうに思えたりも
する。——
そういうことなら、あ
んまり口だせることでも
ないので、職安から出た。
だから、その後、その人
がどうなつたのか知らな
い。
——
——
一つ一つのことがあるこ
釜の中、不信感かはびこ
ることになる。

釜ヶ崎夜間学校
毎週金曜日
夜七時より
市民館三階

みんなでつくろう
みんなの会館
三人よれば何とかの知恵

食うに困る、生活に困る仲間、働く者のアブしをひったくるといふようなことを考えないで、せいぜい行政からふんだくることを考え、努力するべきだと思ひ。それに今の時期なら飯場へもいける。ひったくって逃げける元気があれば、仕事へ行けるのではないか。もつとも、つかまつたということは、逃げきるだけの元気もなかつたことになり、病気で体力がおころえていたのかもよれない。それならばよけいに、一万いくらかの金をひったくつても、問題の解決にもならないのだ。行政をつうじて、なんとか病気をなおす道を

追求すべきだろう。

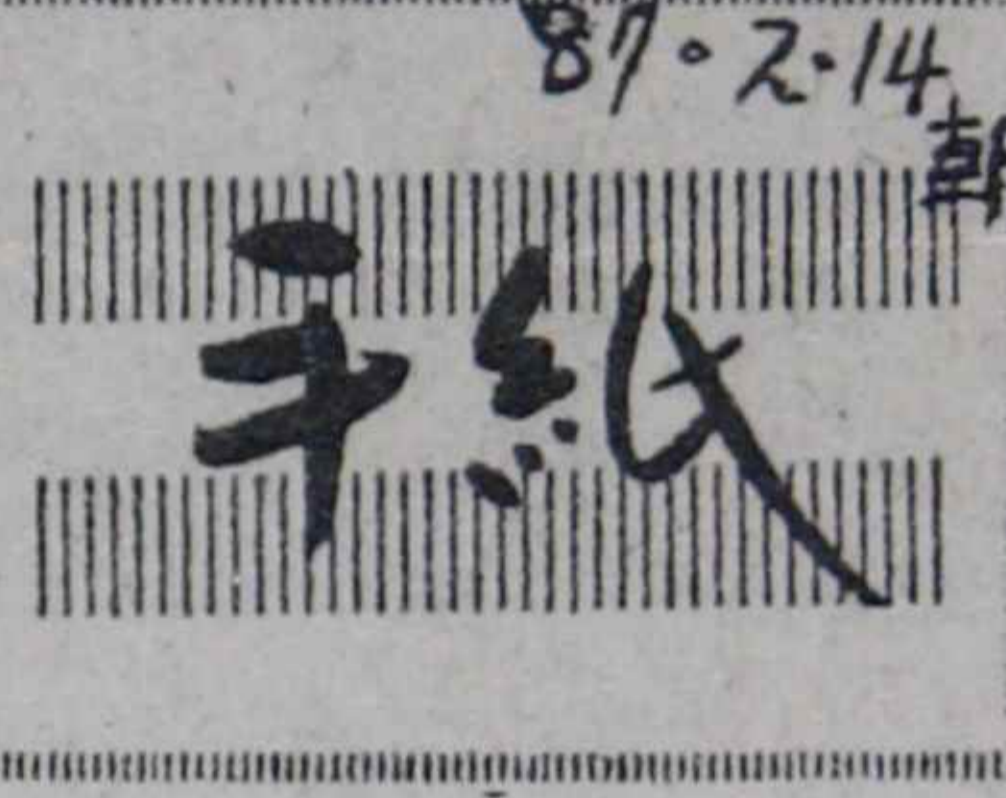
ともかく、ひったくり専門の人間が、センターをワロフいている。ただだけは考えたくない。しかし、あの職安職員の、つかまえて、連行していくエネルギー

釜ヶ崎訪ね感じたこと

日雇い労働者として朝食をとる彼らと見つけた。釜ヶ崎(あめい)の街(地区)へ先日行って来ました。正直なところ、何だか怖くて「やめて帰ろうかしら」、道中何度もそう考えました。しかし私のそんな偏見は、宿に一泊して翌朝五時前に起床し近くの労働センターに行つた時にすべてぬぐいさらされた。話をされるおじさんは二十回近く入退院を繰り返して、現在は体の衰弱のために仕事も得ることができないでいる方でした。一〇八七年二月一日朝日新聞

釜ヶ崎にふれた若い人たちの手紙。一読にあたりすると思ひ。

は、どこからでくるとののだろうか。仕事に対する熱心さからなのだろうか、それとも正義感からなのだろうか。



ひったくりをする仲間が助

トヤの街

日雇いの日々を感謝と祈りの気持ちを持って生きて行こうと思つています。私はこの日を一生忘れることはないと思つてます。もしこれを読んで下さったなら、幸せ過ぎる、豊か過ぎる自分たちの生活を今一度振り返つて、自分のなすべきことをよく

日雇い仕事をしてみた

一月二十五日付南欄「野宿者へ偏見なくそう」を読み、本当に感動しました。僕は高校を卒業してから就職まで少し時間があつたので、日雇い労働の仕事をして三日間試してみたいと思つた。その時に出会ったおっちゃんたちは人間味あふれた思いやりのある優しい人たちで、良くしてもらいました。ある時、一人のおっちゃんが午後の休憩の時、話しかけてくれました。「大阪に出て来た時はいろんな仕事やった。あ、いろいろあつてこうなつて

かめるのは良いことなのだから、今後そんなことはよせ、というのではな

い、その仕事に対する熱心さ、正義感を、職安でありながら仕事の紹介をしない「ありりん」職安のあり方につけても、おけてもらえないものだろうか、と考えるのはありな文か。

もう「たんや」と言いはつた時、みんな人間や、偏見や差別は絶対やたらあかんことや！みんな直していかんあかん、力を合わせて、と思ひました。

おっちゃんたちは、朝四、五時に起きて仕事を見つけて行き、頑張つてはる。人にはそれぞれ辛い事情や生い立ち、だれにも言いたくない、また言えない過去がある。

けど都会へ出て来て仕事をみつけるのは難しく、その上頼る所もなく独りの身、だれだって心細くなる。おっちゃんらから自分合つた仕事を見つけたら、自分がその立場に立てばいい。自分が辛いことか、怠け者とは絶対違う！仕事やりたくても、仕事がないんです。

今の時代、大人も若者も人間が人間としての心のあり方を失い、人を思いやる心が欠けてるような気がします。悲しいことです。

大阪市 匿名希望(19歳)